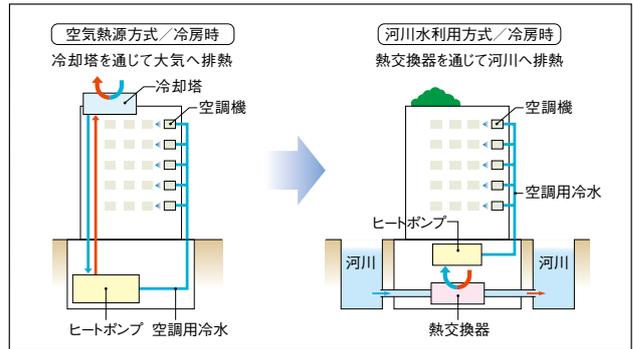


### 中之島線の環境対策

平成20年に開業した中之島線の大江橋駅では、地上から太陽光を取り込み、地下階の壁面・床面に自然光を照射することで、消費電力を年間約500kWh、CO<sub>2</sub>排出量で年間約300kg削減。なにわ橋駅でも太陽光採光システムで消費電力を削減しています。

また、中之島駅・大江橋駅・なにわ橋駅では、駅冷房によって発生する熱を直接大気に放出するのではなく、河川水に吸収させることでヒートアイランド抑制の対策としています。



河川水の温度差エネルギー活用



車内灯のLED化

### 鉄道設備のLED化の推進

駅や車両などの鉄道設備で、省エネルギー化に向けた取り組みを進めています。

京阪線では、各種信号機のLED化を推進しており、平成29年3月31日現在、110基をLED化しています。駅では、照明更新時にLEDなどの高効率器具の導入を進めており、平成28年度には門真市駅・深草駅のホーム照明をLED化しました。また、寝屋川車両基地では、車両工場や検車庫の天井照明を水銀灯からLEDへと更新しています。

鉄道車両の車内灯・前部標識灯（ヘッドライト）のLED化も進めており、平成29年3月31日現在、車内灯は704両中138両、前部標識灯は233両中118両をLEDに更新しています。

### 太陽光発電システムの設置

経済産業省による「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」が平成24年から開始されたことを受け、再生可能エネルギーの普及促進に貢献するとともに、鉄道事業における社有地の有効活用を図ることを目的に、平成26年に橋本駅付近、平成27年に中書島駅付近に太陽光発電システムを設置しました。

2カ所合わせた発電量は約104,000kWh/年となり、一般家庭が消費する電力の約22世帯分に相当し、年間約51,000kgのCO<sub>2</sub>削減の効果があります。



太陽光発電システム(中書島駅付近)

## 公共交通利用促進

### パーク&ライド

京阪電気鉄道(株)では、市街地や観光地に向かうマイカー利用者に対して、駅周辺の駐車場にマイカーを止め、公共交通機関を利用するパーク&ライドへの移行を促し、環境負荷低減を図っています。

平成17年からは、京都市内中心部の道路渋滞を緩和するため、行政機関と協働で、京都方面に向かう方向けのパーク&ライド駐車場のご案内に取り組んでいます。



淀駅高架下第2駐輪場

### サイクル&ライド

京阪電気鉄道(株)では、市街への自動車の流入を抑制して電車の利用を促進するため、関係行政と連携し、駐輪場の設置や現在問題となっている放置自転車対策についての協議を進めています。

平成28年度は、天満橋駅・萱島駅・交野市駅・八幡市駅・淀駅・皇子山駅にて駐輪場を新設または増設しました。